

# 平成 29 年度事業報告書

## 特定非営利活動法人ひょうたんカフェ

### I. 事業実施の概略

特定非営利活動法人ひょうたんカフェは、障害者や高齢者を中心に地域で暮らすさまざまな世代の人々が互いに出会い交流する機会を積極的に作り出し、人と人がつながりあうことの喜びを誰もが感じあえる社会づくりに寄与することを目的として、前年度に引き続き次のような事業を実施した。

本法人の定款第 5 条第 1 項②の障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業として「生活介護事業」「就労継続支援 B 型事業」「ヘルパー事業（居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問介護）」を、同項③の障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業として「ヘルパー事業（名古屋市移動支援）」を、同項⑥のものづくり・文化活動を通じた多世代交流事業として「地域福祉事業」を、それぞれ実施した。

＜法人全体として今年度の振り返り＞

- \* 日中活動の新しい利用者は、特別支援学校高等部の新卒で利用開始した方が 2 名、他事業所からの移動で利用開始した利用者が 1 名、いずれも生活介護事業で増加した。就労継続支援 B 型事業の利用者数は変更なし。ヘルパー事業では数名の利用者増減があった。
- \* スタッフの体制は、日中事業では常勤スタッフ・非常勤スタッフともに前年度から増減がなかった。登録ヘルパーについては、数名の新規ヘルパー登録があり、また退職した登録ヘルパーも数名あった。
- \* 就労継続支援 B 型の開始から 3 年目となり、各班ごとでの売上額の増減はあったものの、全体としてはほぼ前年並みの売上額を維持した。
- \* 9 月に名古屋市の条例指定 NPO 法人の認定申請書を名古屋市に提出。12 月の現地調査およびヒアリングを経て 3 月末に指定を受けた。同時進行で認定 NPO 法人の申請書類を準備して市条例指定を受けた直後の 3 月に認定 NPO 法人の認定許可を受けることができた。
- \* 認定 NPO 法人取得への取り組みをきっかけとして、理事会で今後の法人の方向性についての話し合いを前年度から引き続いて行った。
- \* 前年度に引き続き、スタッフを積極的に外部研修に派遣した。今年度は常勤スタッフだけでなく、登録ヘルパーおよび非常勤スタッフも数名が外部研修に参加した。
- \* 3 月に建物内外数か所の改修工事を行った。（2 階の和室を作業室に変更、1 階入り口部分の改修、1 階照明工事及び便座取り替え工事、外部駐車スペースに自転車置き場設置、ウッドデッキに物置新設）

### II. 事業の実施に関する事項

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

- 1) **生活介護事業（定款第 5 条 1 項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業）デイセンターひょうたんカフェ＊平成24年1月1日事業開始（指定生活介護事業・定員 15 名※平成 27 年 4 月 1 日定員変更）**

＜活動内容＞

利用者の社会参加につながるような「その人らしい豊かな生き方」を実感できる場、また様々な理由により居場所のない方の日中活動の場となることを目的に実施した。名古屋市の生活介護事業者指定を受け、別途定める運営規定にしたがって①ライフプログラム②アトリエプログラム③ワークプログラムなどのサービス提供を行った。

＜今年度の概況＞

平成 29 年 4 月から港特別支援学校卒の新規利用者 2 名が通所開始。（週 5 利用 1 名、週 2 利用 1 名）また、平成 30 年 1 月より他事業所からの移行による新規利用者 1 名が利用を開始した。利用者数、車椅子利用者数の増加に対応して、事故防止のために一部の職員に対して介護技術の研修を受講させたほか、入り口部分の改修工事や機の配置など、環境への配慮も行った。

日常の織りがお客様に繋がっていることを利用者さんに実感していただくために、ループ・無心に織る展・タカシマヤなどでの作品展や実際に販売されている様子を見に行く機会を増やした。また、利用者ミ

ーディングを定期的で開催し、利用者さんの自主的な気持ちを大切にできるよう心掛け、日帰り旅行等の行事の企画・実施に際してもミーティングを通じて利用者さんの意見を反映することを大切にしながら進めた。

絵画と刺繍に取り組まれている利用者さんの個展を開催した際には、著作権についての申し合わせを行ったほか、昨年に引き続き希望者に対して嘱託医である奥村胃腸科外科にて健康診断を受けて頂いた。

スタッフ間での利用者情報や支援方針の共有のため、月1回会議を実施した。

<アトリエプログラム>

- ・その人の特徴を活かした織りの誕生（例：引っ掛け）
- ・経糸の行程について、すべてスタッフがやるのではなく、糸を一本ずつ支援者から渡されながら利用者本人が進めていくような取り組み
- ・織機や補助具などユニバーサルデザインの導入・利用
- ・絵画、刺繍の展示会「いきものと花の刺繍と絵」を覚王山タネにて開催（11月）

<ワークプログラム>

- ・生活介護工賃支払規定に基づき毎月工賃を支給
- ・昨年度に引き続きYWCAでの販売の実施（2回/月）
- ・中村区役所販売実施（1回/月）
- ・トヨタ自動車名古屋営業所での社内ボランティアとの連携で、社員さんが社内で繋いで下さった糸を緯糸に使った「トヨタ織り」を企画・実施。

<ライフプログラム>

- ・ヨガプログラムを実施（1回/月）
- ・スイーツ会議及びスイーツプログラム実施（1回/月）
- ・日帰り旅行（行先：魚太郎）を実施（6月、7月）

<デイセンターひょうたんカフェ利用実績・実習生受入れ実績>

月	活動日数(日)	延べ利用者数 (人)	実利用者数 (人)	平均利用者数 /日	実習生受入れ 述べ人数(人)
4月	22	248	25	11	0
5月	22	246	24	11	0
6月	24	290	24	12	4
7月	22	216	24	10	8
8月	19	197	24	10	11
9月	22	251	24	11	1
10月	22	251	23	11	0
11月	22	252	23	11	0
12月	21	207	23	10	0
30年/1月	20	187	24	9	9
2月	21	209	23	10	0
3月	23	241	22	10	0

**2) 就労継続支援B型事業(定款第5条1項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業)ワークセンターひょうたんカフェ(指定就労継続支援 B 型事業・定員 15名)※平成 27 年 4 月 1 日事業開始**

<活動内容>

就労継続支援 B 型事業者指定を受け、別途定める運営規定にしたがって利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難な者に対して、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練、研修の提供を行った。従来のフード班・クラフト班に分かれた自主生産事業に加えて、昨年度から引き続き請負作業（織りと PC 入力）にも取り組んでいる。

また、スタッフ間での利用者情報や支援方針の共有のため、月1回フード班、クラフト班それぞれで会議を実施した。

<利用者支援について>

- ・利用者数は前年度と変わりなし。(フード班6名、クラフト班7名)
- ・昨年度に引き続き、嘱託医である奥村胃腸科外科にて健康診断を受けていただいた。(希望者のみ)
- ・面談にて一般就労に対する希望を調査したが、13人中希望者は2名であった。
- ・利用者向けの就労についての学習会・見学会については今年度は実施なし。
- ・施設外就労の実施なし。
- ・民間のコンサルティング会社から一般就労の求人案内があり、希望者に対して就労先(カラオケ屋)の見学を実施(ご本人2名+保護者1名+スタッフ2名)したが、両名とも応募は希望されなかった。
- ・研修旅行を実施(以下詳細)
  - ☆フード班：宮城県(涌谷とうふ店、他)10月、一泊2日
  - ☆クラフト班：東京(ラまの、マジエルカ)12月、一泊2日
  - ☆前年度までのようなレクリエーション目的ではなく、日頃の仕事への意識を高める目的での旅行とした。当日までに学習会を重ねて、どの部分を見学したいのかについて一人ひとり意識をもって頂くようにした。旅行内容の企画はスタッフで行った。

<工賃支給について>

今年度の支払い実績は、月額平均22,757円を13名に対して支給。

(平成28年度は月額平均21,005円を13名に対して支給。支給総額対前年度比108%)

<製造・販売活動について>

①クラフト班

- ・売上総額は約530万円で前年度並み。
- ・新たな卸売先(マジエルカ、ZAKKA 灯台、ハニードロップ、ユートピア若宮など)が増え、タカシマヤでの催事(暮らしのストア展・6月)に出店するなどデパートへの出店の機会が増えた。
- ・昨年度に引き続きクリエイターズショップ・ループ第10期(クリエイター創業支援スペース)に採択され、年間を通じて国際デザインセンター4階店舗にて常設販売の場を持った。
- ・昨年度に引き続き、鳴海紋子「こんせい」さんにて1回/2ヶ月程度施設外指導を受けた。
- ・ワークショップの機会の増加に伴い利用者さんが織りの指導者としての仕事をこなすことが増えた。
- ・新たな取り組みとして、インスタグラムでのイベント告知や商品紹介を担当利用者さんが行った。
- ・「オーダーメイド会」をループやてのり、バザールなどで開催し、作り手と買い手が繋がりあえるような形を模索した。
- ・絵画の取り組みでは、「あいちアールブリュット優秀作品特別展アティックアート部門」での受賞があった。

●作品展・イベントへの出展実績

4月	◎ループ実演(4/13)、◎あなたとともに紡ぎのコミュニケーション(4/23)
5月	◎掘り出しモノ市@ひょうたんカフェ(5/1~12)、◎「今・しあわせ」さをり展(5/2~7) ◎ワークショップ@リテイル(5/7)、◎世界フェアトレードデーなごや(5/13)、◎実演@テレビ塔(5/18)、◎おさんぽフリマ(5/21)、◎ギャラリーsobo 作品展(5/25~29)、◎ラエール祭(5/28)
6月	◎やっちゃんち作品展(6/11)、◎暮らしのSTORE展@JR名古屋高島屋(6/15~20)、◎トヨタハートフルフェア(6/24)、◎ループ・ワークショップ(6/30)
7月	◎椙山女学園大学オープンキャンパス(7/9)、◎熊本応援イベント@オアシス21(7/25)
8月	◎夏カフェ・ワークショップ(8/5)、◎椙山女学園大学オープンキャンパス(8/11~12) ◎あつたつながらるフェア@熱田イオン(8/24)
9月	◎「日々、うまれる 織や絵を暮らしの中に。」展@てのり(9/1~10/2)、◎椙山女学園大学オープンキャンパス(9/10)、◎世界と日本のフェアトレード「いいものマーケット」@名古屋三越(9/20~25)、◎東邦高校学園祭(9/22~23)、◎なやばし夜市(9/22~23)、◎ループ・ワークショップ(9/29)

10月	◎YWCAバザー(10/6)、◎丸の内マルシェ(10/14~15)、◎アールマテリアルプロジェクトA×B@ラシック(10/18~26)、◎ワークショップ@リテイル(10/22)、◎無心に織る展(10/24~28)、◎中村区民まつり(10/28)、◎ワークショップ@リテイル(10/29)
11月	◎アールマテリアル@JR 名古屋高島屋(11/1~7)、◎べにしだ祭(11/3)、◎おさんぽフリマ(11/12)、◎ループ・ワークショップ(11/16)、◎GO ふくし(11/18)、◎フライングディスク大会(11/19)、◎ホスフェス(11/19)、◎クリスマスの贈り物@マジエルカ(11/29~12/4)
12月	◎障がい福祉施設のおくりもの「あいうえお」展@てのり(12/1~30)、◎やっちゃんちクリスマス会(12/9)、◎クリエイターズマーケット(12/9~10)、◎渋谷ヒカリエ(12/14)、
1月	◎オーダーメイド展@てのり(1/5~29)、◎HUMORA@静岡駅ビルパルシェ(1/16~22) ◎ループ実演(1/25)、◎明治安田生命×MO-YA-CO UNIQUE PRODUCT!(1/26)
2月	◎愛逢コンサート(2/11)、◎ループ・ワークショップ(2/24)◎ムクわくマーケット(2/24)
3月	◎ひょうたんバザール(3/21)、◎なやばし夜市(3/23~24)、◎ソーネ大曾根内覧会(3/24~25) ◎ソーネ大曾根グランドオープン(3/31)

●主な定期販売先・東別院手づくり市

●商品のお取扱い場所

てのり(名古屋・本山)・マジエルカ(東京・吉祥寺)、tane(名古屋・覚王山)、  
ガーデンカフェやっちゃんち(名古屋・八事)、Good Jobセンター香芝(奈良)、  
きもの美濃幸(名古屋・中村)、3331 ARTS CYD(東京・秋葉原)、かわら美術館(愛知・高浜市)、  
リテイル(一宮)、アトリエらぼ(長崎)、ZAKKA 灯台(青森)、リムセ(ネットショップ)、  
ほっこりマッサージ(イベント) お家そらみどりむし(名古屋・新瑞)、SAORI COOP(大阪)、  
Curely(名古屋・名駅)、らいぶ遊(べにしだの家)、ユートピア若宮(豊田)、HARUM(長野・安曇野)、  
HONE y DROP(静岡)、ソーネ大曾根(北区)

②フード班

- ・売上総額は約780万円で、前年度の約830万円を下回った。
- ・新たなイベント出店先として九の市販売(月1回程度)が増えた他は、配達・販売先は前年度までとほぼ変化なし。
- ・製造原価率(原材料費、包装材費の合計)は今年度は対売上約43%で、昨年度の41%より微増。
- ・新たな設備投資として、丸型容器のシーラーに対応できる包装機の付属ユニットを約20万円で購入。丸型容器を生かしたデザート感覚の「ふわとろ豆腐」を新商品として開発、主にイベント等での販売を始めた。
- ・年度の後半で、体調や精神面での不調により出席日数が減った利用者さんが2名程あり、その分の作業をスタッフがカバーする状況が続いた。

●主な定期販売・配達先

東別院手づくり市、九の市、西養護学校、名身連、名古屋YWCA、佐織特別支援学校、ガーデンカフェやっちゃんち、わっぱん、熱田いきいきサロン、金山居宅、日吉保育園

●卸し先・市江さん(魚や)、あいのう天白店、shizuku

●イベント等出展実績(不定期)

4月	◎最も自由な人たち(4/16)
5月	◎世界フェアトレードデーなごや(5/13)、◎おさんぽフリマ(5/21)、◎ラエール祭(5/28)
6月	◎やっちゃんち販売(6/24)
7月	◎大門夏祭り(7/21)、◎介護支援講演会@城西病院(7/21)、◎熊本応援イベント@オアシス21(7/25)
8月	◎夏カフェ・ワークショップ(8/5)、◎あつたつながらるフェア@熱田イオン(8/24)
9月	◎「日々、うまれる 織や絵を暮らしの中に。」展@てのり(9/1~10/2)、◎世界と日本のフェアトレード「いいものマーケット」@名古屋三越(9/20~25)、◎東邦高校学園祭(9/22~23)、◎なやばし夜市(9/22~23)、
10月	◎YWCAバザー(10/6)、◎丸の内マルシェ(10/14~15)、◎中村区民まつり(10/28)
11月	◎ワインフェスタ in 多治見(11/3) ◎べにしだ祭(11/3)、◎おさんぽフリマ(11/12)、◎フラ

	イングディスク大会(11/19)、◎ホスフェス(11/19)
12月	◎障がい福祉施設のおくりもの「あいうえお」展@てのり(12/1~30)、◎やっちゃんちクリスマス会(12/9)
1月	◎オーダーメイド展@てのり(1/5~29)、◎明治安田生命×MO-YA-CO UNIQUE PRODUCT!(1/26)
2月	◎愛逢コンサート(2/11)、◎ムクわくマーケット(2/24)
3月	◎ひょうたんバザール(3/21)、◎なやばし夜市(3/23~24)、◎そーね大曾根内覧会(3/24~25) ◎そーね大曾根グランドオープン(3/31)

### ③請負作業

- ・総売上金額約109万円(前年度は約47万円)
- ・昨年度に引き続き、織りの下請け作業((株)L.F.Cから受託)を実施(クラフト班利用者数名が従事)
- ・織り幅、テンションなどの技術を要する作業を決められた納期で収めることは、利用者さん・スタッフ共に一定の負担がかかったが、一流のブランドの商品として販売されることは仕事への誇りに繋がった。  
(9月より笹島グローバルゲート内のショップにて商品販売中。ひょうたんカフェの制作風景の写真がショップ内に飾られる等、商品の付加価値にもなっている)
- ・納期のある仕事をこなすことで、利用者さんとスタッフがチームとなって取り組むことができた。
- ・房結びなどの作業を新たに募集した内職さんや、ボランティアさんに依頼。
- ・PC会計入力取引先(株)モリトクの伝票整理などを受託。フード班所属の利用者1名が手の空いた時に行っている。

#### <ワークセンターひょうたんカフェ利用実績・実習生受入れ実績>

月	活動日数(日)	延べ利用者数(人)	実利用者数(人)	平均利用者数/日	実習生受入れ 述べ人数(人)
4月	21	256	13	12.2	1
5月	25	256	13	10.2	0
6月	24	278	13	11.6	10
7月	23	252	13	11.0	0
8月	21	235	13	11.2	5
9月	23	247	13	10.7	0
10月	23	258	13	11.2	0
11月	23	257	13	11.2	10
12月	22	261	13	11.9	0
30年/1月	19	230	13	12.1	0
2月	21	231	13	11.0	0
3月	22	250	13	11.4	0

### 3)ヘルパー事業

(定款第5条1項②障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく障害福祉サービス事業及び定款第5条1項③障害者の生活及び社会生活を総合的に支援するための法律にもとづく地域生活支援事業)

**ヘルパーセンターらいぶ☆YOU(居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護事業・移動支援事業)**

#### <活動内容・今年度の概況>

利用人数・収入ともにほぼ前年度並みの実績であった。ひょうたんカフェの日中活動利用者がショートステイ先を利用する際の送迎や通院支援など、個別のイレギュラーな利用希望に対応することが増えている。

利用者さんが利用されている他のサービス事業所(日中事業所やグループホーム等)との調整が必要なケースが増えており、サービス提供責任者が中心となって細々とした調整や変更に対応した。長く在籍していた登録ヘルパー1名の退職に伴い、担当していた一部の利用者さんの利用を他事業所に受けて頂くように関係機関との調整を行ったケースもあった。

その一方で、養護学校高等部への通学支援を新たに開始したケースもあり、出来る範囲で地域のニーズに応えられるよう努力した。

制度変更への対応、ヘルパーの技術向上のための資格取得支援に力を入れ、重度訪問介護従業者養成研修1名、介護職員初任者研修1名、同行援護従業者養成研修に2名、行動援護従業者養成研修に1名（いずれも登録ヘルパー）を派遣した。研修費用の全額又は一部を補助するにあたって、名古屋市人材育成事業助成金を活用した。

毎月第2火曜日にヘルパー会議を開催して、情報共有や学習の機会を設けた。

<利用人数実績/内訳>

月	合計実人数	移動支援	同行援護 行動援護 重度訪問介護 居宅介護	自費利用
4	49	32	17	1
5	49	32	17	1
6	52	34	18	1
7	53	35	18	1
8	51	33	18	1
9	49	33	16	1
10	45	30	15	1
11	49	34	15	1
12	47	33	14	1
1	46	31	15	1
2	48	32	16	1
3	48	32	16	1

#### 4) 研修について(福祉サービス事業共通で実施)

<平成29年度事業所内研修>

開催日	内容	対象者
<第1回> 平成29年11月11日(土)	●講演「ふくしのころ」講師：島崎春樹氏 ●研修報告会（発表者：三島、片岡、田島、山崎、水野、橋本、内田、池川）	デイセンター、ワークセンタースタッフ、ヘルパーセンタースタッフ
<第2回> 平成29年12月23日(土)	●講演「ふくしのころ」講師：島崎春樹氏	ヘルパーセンター登録スタッフ
<第3回> 平成30年3月3日(土)	●権利擁護研修「自分を認め、気持ちよく生きるために」 （講師：同朋大学 下山 久之氏） ●研修報告会（発表者：井上、三島、内田）	デイセンター、ワークセンター、ヘルパーセンタースタッフ

<平成29年度事業所外研修への派遣等>

派遣月日	研修名	参加者
平成29年4月15日～29日	●重度訪問介護従業者養成研修（主催：AJU 自立の家）	ヘルパーセンター登録スタッフ1名
平成29年6月10日～9月30日	●介護職員初任者研修（主催：（株）セラム）	ヘルパーセンター登録スタッフ1名
平成29年6月1日	●「接遇・マナー研修」（主催：社会福祉研修センター）	デイセンター非常勤スタッフ1名
平成29年6月15日	●「タイムマネジメント研修」（主催：同上）	事務スタッフ1名
平成29年6月26日	●「ファシリテーション研修」（主催：同上）	デイセンタースタッフ1名
平成29年7月6日	●「NPOの社会的価値を考える～市民社会論の視点から～」 （主催：東大手の会）	法人代表者1名
平成29年9月14日	●「防災管理研修」（主催：名古屋市）	防災管理者1名
平成29年9月22日	●「障害者差別解消法」（主催：親愛の里）	デイセンタースタッフ1名
平成29年10月8～9日	●「フード班研修旅行」（行き先：宮城県）	ワークセンタースタッフ2名 ヘルパーセンター管理者1名
平成29年10月20日	●「発達障害研修：自閉症の特性と支援の組み立てに必要な行動の見方やアセスメント」（主催：社会福祉研修センター）	ワークセンター非常勤スタッフ1名
平成29年11月24日	●「介護技術研修Ⅱ」（主催：社会福祉研修センター）	デイセンタースタッフ1名
平成29年12月1～2日	●「クラフト班研修旅行」（行き先：東京都）	ワークセンター管理者1名 ワークセンタースタッフ3名、
平成29年12月15日	●「愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修」（主催：愛知県）	デイセンタースタッフ1名
平成30年1月21日～2月11日	●行動援護従業者養成研修（主催：地域福祉サポートちた）	ヘルパーセンター登録スタッフ1名
平成30年2月10日～24日	●同行援護従業者養成研修（主催：パーソナルケアカレッジ）	ヘルパーセンター登録スタッフ1名
平成30年3月8～22日	●同行援護従業者養成研修（主催：未来ケアカレッジ）	ヘルパーセンター登録スタッフ1名

5)地域福祉事業(定款第5条(1)の⑥ものづくり・文化活動を通じた多世代交流事業)

障がい者福祉の啓発をはじめ広く福祉のこころを育て、みんなで支えあう地域づくりの一助となることを目的として実施。地域に向けたイベントやワークショップの開催、障害者アートイベントへの出展・参加、ボランティアや実習生の受け入れ、大学等への講師派遣やオープンキャンパスへの参加など、様々な形で社会への発信を行った。

① 福祉イベント活動

<ひょうたんバザール>

- 日時：平成30年3月21日 10時～15時（ボランティア8名参加）
- 内容：バザールカフェ、クラフト作品販売、織り体験ワークショップ、豆腐・ドーナツ等販売  
ミニフリーマーケット
- 売上金額：286,130円（総額）

<ワークショップ（WS）実施実績>

月	ワークショップ場所・内容
4月	●あなたとともに紡ぎのコミュニケーションWS(4/23)
5月	●織りWS@リテイル(5/7)
6月	●織りWS@ループ(6/30)
7月	●織りWS@椙山女学園大学オープンキャンパス(7/10) ●織りWS@ループ(7/22)
8月	●夏カフェ・織りWS(8/5)@ひょうたんカフェ ●織りWS@椙山女学園大学オープンキャンパス(8/11～12) ●あつたつながるフェアWS@熱田イオン(8/24)
9月	●織りWS@椙山女学園大学オープンキャンパス(9/10)

	●織り WS@ループ(9/29)
10月	●織り WS@リテイル(10/22)
11月	●織り WS@ループ(11/16)
2月	●織り WS@ループ(2/24)
3月	●ひょうたんバザール織り WS (3/21)

## ② 人材育成活動

<ボランティア受け入れ実績>

月	延人数	内容
4月	8	ヨガ、さをり仕立て・縫製、入力作業支援
5月	17	さをり仕立て・縫製、入力作業支援
6月	25	ヨガ、さをり仕立て・縫製、入力作業支援、生活介護日帰り旅行
7月	10	ヨガ、さをり仕立て・縫製、入力作業支援
8月	133	夏カフェ、さをり仕立て・縫製・糸結び、入力作業支援、イベント販売
9月	338	ヨガ、さをり仕立て・縫製・糸結び
10月	12	ヨガ、さをり仕立て・縫製
11月	13	ヨガ、さをり仕立て・縫製
12月	14	ヨガ、さをり仕立て・縫製、クリスマス会
1月	13	ヨガ、さをり仕立て・縫製
2月	12	ヨガ、さをり仕立て・縫製
3月	22	ヨガ、さをり仕立て・縫製、ひょうたんバザール
合計数	617	

\*上記以外・・・中高生夏休みボランティアの受け入れ(7・8月)・・・各1名×3日間コース(延べ6名)

<福祉実習生受け入れ実績>

日本福祉大学(保育士実習) 1名×10日間(述べ10名)(6月19日～30日)  
 椋山女学園大学(社会福祉士実習) 1名×16日間(述べ16名)(9月1日～22日)  
 椋山女学園大学(社会福祉士実習) 1名×23日間(述べ23名)(10月6日～11月8日)  
 同朋大学(介護福祉士実習) 1名×12日間(延べ12名)(2月9日～3月2日)

## ③ 地域福祉ネットワーク活動

<講座講師派遣> ●愛知県知的障害者協会日中部会講師・・・3月14日(水)

<さをりふれあい事業実績数>

月	延べ参加者総数(人)	月	延べ参加者総数(人)
4月	2	10月	2
5月	2	11月	3
6月	1	12月	3
7月	4	1月	2
8月	1	2月	1
9月	1	3月	2

## Ⅲ. 会議の開催に関する事項

<定期総会>

### ① 開催日時及び場所

平成29年5月27日(土) 10時00分～12:00 ひょうたんカフェにて

### ② 議題／・平成28年度事業報告・収支決算報告・監査報告

- ・平成29年度事業計画及び収支予算書報告
- ・役員改選について

<臨時総会>

① 開催日時及び場所

平成30年3月16日（金）16時00分～16：30 ひょうたんカフェにて

② 議題／・役員報酬規程について

<理事会>

開催日時	議題・審議事項
第1回理事会 平成29年11月27日（月） 午後5時30分～午後7時30分	◎平成29年度中間決算報告 ◎平成29年度中間事業報告
第2回理事会 平成30年3月26日（月） 午後5時30分～午後7時30分	◎平成29年度決算（仮）報告 ◎平成29年度事業報告 ◎平成30年度予算 ◎平成30年度事業計画

IV. その他

① 事務局業務について

事業推進のために必要な法人事務、経理、労務、広報などの業務を行った。今年度は認定NPO法人申請書作成業務を行い、名古屋市による現地調査とヒアリングを経て3月末に認定取得した。認定取得に対応して、今年度から非営利法人の税務・会計に詳しい税理士に顧問を変更し、これまで税理士に依頼していた会計入力を法人内で行う形に業務の流れを変えた。

② 助成金交付

前年度に引き続き、「名古屋市福祉人材育成支援事業助成」を活用し、職員の資格取得に対する費用の助成を受けた。（総額10万円）

また「認定NPO法人取得資金助成（損保ジャパン日本興亜福祉財団）」と「両立支援等助成金（愛知県労働局）」を以下の金額で受領した。

支給決定日	助成団体等	助成金額	用途
平成29年7月4日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	28,125円	研修受講費用
平成29年11月21日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	24,000円	研修受講費用
平成29年11月28日	生活困窮者就労訓練事業（名古屋市）	40,000円	事業費
平成30年1月9日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	22,500円	研修受講費用
平成30年1月9日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	16,200円	研修受講費用
平成30年1月26日	名古屋市福祉人材育成支援事業助成	9,175円	研修受講費用
平成30年2月13日	認定NPO法人取得資金助成 （損保ジャパン日本興亜福祉財団）	300,000円	認定NPO法人 取得関連事業費
平成30年3月29日	両立支援等助成金（愛知県労働局）	570,000円	事業費
合計		1,010,000円	